

東京慈恵会医科大学附属病院(本院)

住所：〒105-8471 東京都港区西新橋 3-19-18

TEL：03-3433-1111

HP：<http://www.jikei.ac.jp/hospital/honin/index.html>



責任者からのコメント

リハビリテーション医学では中枢神経疾患・骨関節疾患・脊髄損傷・切断・神経筋疾患・循環呼吸器疾患など、幅広い疾患を網羅します。臓器別の診療やデータばかりにとらわれず、全人的な患者に向き合う医療です。

当講座ではリハビリテーションに関わる全ての職種が臨床・教育・研究において相互に密な連携を取り合い、我が国のリハビリテーション医療を支えるリーダーシップの育成を行っております。それぞれのニーズに合った知識と経験を提供できるものと確信しております。

リハビリテーション科医師（2020年6月現在）

責任者：安保 雅博（診療部長・主任教授） 指導医：巷野 昌子

他：常勤医師 4名（レジデント 3名） 非常勤医師 3名

総病床数：1075、リハ科病床数：6、診療科・センター数：38、理学療法士 20名、作業療法士 8名、言語聴覚士 2名

研修病院としての特徴

1. 最大規模の病床数

当院を含め我々の研修病院は都内において最大級の病床数を誇り、あらゆる疾患に対し質・密度とも高い医療を提供できるため、遠方からのレアケースもたくさん受診されております。そのため、リハビリテーション医学の学習に必須な脳血管疾患や整形疾患はもちろんのこと、なかなか経験できない様々な疾患に対する知識・経験を得ることが可能です。

2. 多職種連携および高濃度の学習

リハビリテーション医学の遂行には理学療法士・作業療法士・言語聴覚士をはじめ、主治医、看護師、ソーシャルワーカーといった関連職種との連携が必須であり、それぞれの専門的知識も知る必要があります。当院をはじめ我々の研修病院ではリハビリテーション科医師が主軸となり様々な科・部門とのカンファレンス・症例検討会・勉強会等を開催しております。特に当院では定期的に御高名な様々な分野の専門家を招いた大規模な勉強会も開催しております。

3. 先進的治療的リハビリテーション

かつてリハビリテーション医学の本領は、残存した機能の強化や代償といった手段による能力障害や社会的不利益の改善にありました。しかし現在はより積極的な障害そのものへの「治療」にシフトしております。当科が世界に先駆けて発信している反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)は様々なメディアにも取り上げられ、2019年4月より当院では未承認医療機器治療として提供できるようになりました。ボツリヌストキシンを用いた痙攣治療は成人施注数国内トップを誇り、関連する様々な治験にも参加しております。

最後に

様々な分野のスペシャリストを数多く擁しております。日本のトップはもちろん、世界を獲りにいく、発展性の高い臨床・研究を共に推進させましょう。2020年に新外来棟ができ上がり、最新のリハビリテーション室が完成しました。

